

立志だより



立志・自主・勤勉

与那原町立与那原中学校
校長 垣花英正

○立志ウィーク

先週14日（月）から18日（金）は「立志ウィーク」でした。「立志ウィーク」とは、総合的な学習の時間を集中的に行う一週間のことです。1学年は、福祉体験、2学年は職場体験、3学年は修学旅行の取組を中心に行いました。

生徒の感想を紹介します。

1年5組 平良梨心さん

今日の授業を通して私は、視覚障がい者には、音、手触りが重要になってくるのが分かりました。また、目が不自由な病気でも、全く見えないとか、光は分かるとか、レベルが違うことがあることが分かりました。アイマスクで見えない世界を体験して、見えないって怖くてとても暮らしにくいと強く思い、そんな中で暮らせている講師の先生は尊敬でしかありません。私は一人であることが結構好きですが、（アイマスクをしたまま）物を当てるクイズで色とか教えてくれる人がいて、仲間って大切だし必要だと思いました。



1年2組 瀬底煌月さん

車椅子体験をして、介助する側だとあまり怖くないのに、介助される側になると坂を下るときや段差の登り降りなど、怖い場面がたくさんあり、介助する側はされる側の気持ちを考えてやらなければならないということが分かりました。アイマスク体験では、社協の方が説明してくれたとおり、2人で1人だから目の見えない人の事を考えて介助しないといけないこと、声かけなどをすると目の不自由な人は安心することが分かりました。



2年2組 徳松侑磨さん

今回職場体験を通して、朝の朝礼で皆が集まって、報・連・相ができていることなど、社会では当たり前なんだなあということがわかりました。また仕事では、コミュニケーションが大事で、お

客さんに頑張ってと言われてとても嬉しかったです。また、仕事の大変さを知ったから親にも感謝したいし、働くことの大切さ、将来のことも考えることが出来たので良かったです。学校生活でも生かしたいです。

2年4組 藤田京美さん

職場体験を通して、働くことは誰かのためを想って行動することが大切だと学びました。飼い主さん1人1人に寄り添って話していたり、診察に来た動物たちに「大丈夫」と何度も声をかけていて、すごく暖かい雰囲気だなと思いました。

また、たくさんの薬や病気の種類を勉強していて、動物を救うためにとても努力をしていると知り、すごいなと思いました。私は仕事を選ぶ時に「やって良かった」思える職業に就きたいと思います。



3年5組 川合結衣さん（学年委員長）

私はこの修学旅行で、講師の説明で座喜味城跡の曲線上の城壁や石積み技術などを学びました。次にチビチリガマの歴史について深く細かく学んだ後、実際にチビチリガマの近くに行き、皆でお祈りをしました。

夜の全体レクレーションでは、普段は団結力に欠ける3年生ですが、学年一体となって、盛り上げることが出来、とても楽しい夜でした。

翌日の闘牛観戦では、ガイドさんに闘牛のルールや角の種類、歴史などを教えてもらいました。また実況もあり、より楽しく闘牛観戦をすることが出来ました。最後に行った勝連城跡では、展示品を見て、実際に勝連城跡に昇ると、とても高くてきつかったけど、頂上から見る景気はとてもきれいでした。この修学旅行で沖縄のことをより深く学び、学年の団結も深まり、とても楽しい2日間でした。

3年2組 波平幸樹さん（学年副委員長）

楽しかった修学旅行もあっという間でした。その修学旅行では、団結力がより一層高まったと思います。特にレクの時にはステージに立って盛り上げてくれた人、観ている仲間、そしてレク係の皆さんの協力があったって大成功したと思います。

次に班で行動をしたことも団結力が高まった理由の一つだと思います。団体行動では、1人が欠けている

とその人が来るまで待つというルールがありました。常にそのことを意識することで、行動が機敏になり、予定よりも早く目的地に着くことが出来ました。また、車椅子で参加した仲間が皆と楽しめるように、皆で協力して手伝ったこともあり、思いやりを感じました。

最後に修学旅行では、それぞれの係があり、それを皆が全力で取り組む事が出来ました。この経験を様々な場面で活かせるよう学校生活を冲って行きたいと思います。

